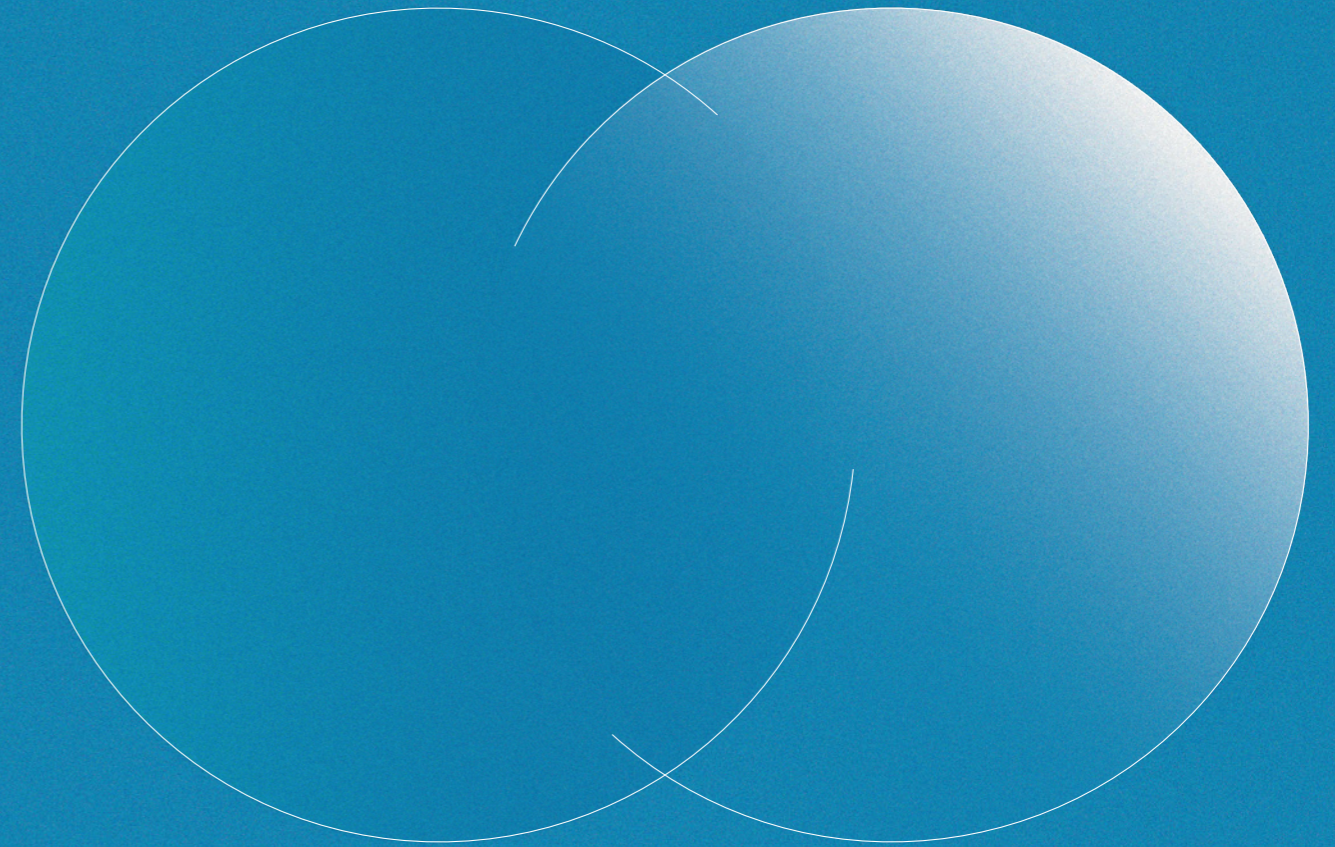


**HORIBA**

株式会社堀場アドバンスドテクノ  
〒601-8551 京都市南区吉祥院宮の東町2番地



# 技術だけでなく、 企業活動のすべてを未来のために。

安心・安全な“水”は、毎日の暮らしと社会基盤を支えるために欠かせない資源。

この地球に息づく自然と、多様な生態系を守り続けるためにも、無くてはならない存在です。

私たち堀場アドバンスドテクノは、「世界中のあらゆる水質を守る」というミッションのもと、

コア技術である水・液体の計測技術を活かして水資源の循環を支え、

環境を取りまくさまざまな課題と向き合い続けてきました。

そしてこれからは、水をはかる技術を通して環境への貢献を果たすだけでなく、

企業としての営みのすべてを、未来のために持続可能なものにしていきます。

一緒にはたらく従業員、お客様やパートナー企業、地域の方々、そして、社会、地球環境。

私たちは、あらゆるかかわりを見つめ、未来のためにできることを一つひとつかたちにしながら、

サステナブルな在り方を追求していきます。

# 未来のために、水と対話しよう。

# TOP MESSAGE

堀場アドバンステクノは、HORIBAの創業製品であるpHメータをはじめ、水・液体に特化した分析・計測機器を手がけるエキスパート集団です。浄水から排水・下水まで、水資源の循環をさまざまな場面から支えるとともに、薬液を正しくはかる技術を通して、最先端の半導体製造プロセスや創薬の研究にもソリューションを提供しています。

地球は“水の星”といわれるように、安全な飲料水の確保だけでなく、私たちを取りまく生活環境や産業、自然のあらゆる場面で水の質が問われ、多様な計測ニーズが生まれています。

私たちはその水質を守るという使命のもと、みんなが同じ方向を向いて力を合わせることで、一歩ずつ道を切り拓いてきました。

そして、2025年には設立50周年を迎え、100年企業を見据えて新たなステージへ進もうとしています。

環境先進国フランスを拠点に加えて挑む、グローバル展開の加速。

世界に広がるHORIBAのグループ力を活かした、マーケット・オリエンテッドな活動によるお客様のさらなる便益の追求。

私たちはこれからも「おもしろおかしく」の精神を胸に、一人ひとりがオーナーシップを発揮しながら、未来へ挑み続けていきます。

代表取締役社長 西方健太郎





## 新しい社会に欠かせない3つの分野に、 水・液体を「はかる」技術で挑戦する。

持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな社会課題の解決に貢献する「エネルギー・環境」。

健康で安全・安心な生活を守るため、バイオ／ライフサイエンスの研究を支える「バイオ・ヘルスケア」。

新しい日常の実現に欠かせない、高度な情報技術を支える「先端材料・半導体」。

これら3つの分野において、堀場アドバンスドテクノは、HORIBAグループが創業から70年以上にわたり培ってきたコア技術のひとつ「水・液体計測技術」を活かし、あらゆる課題解決と技術革新に挑んでいきます。



# Energy & Environment

エネルギー・環境



## 環境・社会の課題と向き合い、 世界中のあらゆる水質を守る。

堀場アドバンスドテクノは、HORIBAグループが保有する計測・分析技術を駆使して24時間365日、水のインフラを支え続けるとともに、多様化する社会課題の解決に向けてソリューションの提供を進めています。

例えば、水不足の解決に向けた海水の淡水化や水循環システムを支える水質検査・モニタリング。人材不足が深刻化する上下水処理施設に向けた省人化・自動化の提案。環境と人体に悪影響を及ぼす物質に対する、新たな計測手法の確立。さらに、研究施設などに向けた小型の水質計にも力を注ぎ、学術研究の発展や、開発・生産プロセスにおける品質管理にも貢献を果たそうとしています。こうした多様な計測ニーズへの対応によって、より多くの方々のために「はかる」技術を役立てていきます。

## 「はかる」ことで、 電力消費・環境負荷を、大きく低減。

「アンモニア態窒素計HC-200NH」は、下水処理プロセスの汚れの指標であるアンモニア態窒素濃度を測定し管理することで、これまで下水処理施設における消費電力のおよそ1/3\*を占めていたブローア(送風機)制御の最適化を可能にします。これにより、電力消費・環境負荷の低減に貢献します。

※2017年当社調べ

### 関連製品



ポータブル水質計 LAQUA  
WQ-300シリーズ



現場型水質計 H-1シリーズ  
アンモニア態窒素計 HC-200NH

# Bio & Healthcare

バイオ・ヘルスケア

# Materials & Semiconductor

先端材料・半導体



## ヘルスケアジャーニーに寄り添い、健康を支える人を、支えていく。

堀場アドバンステクノは、「製薬・バイオ医薬」を注力領域のひとつに定めました。特にバイオ医薬の領域では、細胞培養から精製・調整・滅菌・分注・出荷試験に至る生産プロセスにおいて、あらゆる場面で液体が用いられます。計測データの正確性や完全性の担保など、その計測ニーズの一つひとつに応えることで、高品質な医薬品の安定供給を支えています。

さらに、病気の予防に向けた「ヘルスケア」の領域にも力を注ぎ、自宅や介護施設における健康状態の観察やセルフチェック、成人病のリスク低減に向けた健康管理など、HORIBAグループが保有する技術を活かして、バイオ・ヘルスケアに関わる企業や研究機関の活動を支え、多くの人々の健康を支えていくことが、私たちの願いです。

## 微生物の検査を迅速化・高感度化し、医薬品の安全性とタイムリーな供給に貢献する。

微生物迅速検査装置「Rapica」は、ATP生物発光法の原理をもとにエネルギー代謝時の発光反応を利用して、検出の迅速化と高感度化を実現。約2.5時間で微生物1細胞レベルの検出が可能になりました。微生物試験の結果を速やかに得られることで高品質な医薬品を安定的に生産できるようになり、その薬を必要とする患者様へのタイムリーかつ安定的な供給に貢献します。

※ヘルスケアジャーニー：健康な生活にはじまり、予防、診断、治療、ホームケアに至るまで、ヘルスケアについて経験する各種イベントとプロセスを、一つの旅路として捉え、「ヘルスケアジャーニー」と表現しています。



## 半導体のサプライチェーンを見つめ、さらなる貢献を果たしていく。

半導体製造プロセスでは、ウェハ洗浄が頻繁に行われており、洗浄に用いる薬液の正確な濃度管理が求められます。さらに、薬液の使用量を適正化して環境負荷の低減を促すためにも、濃度モニタは半導体製造に欠かせない存在です。

堀場アドバンステクノは世界トップレベルのシェア\*を誇る薬液濃度モニタをはじめ、半導体デバイスの品質や薬液の管理に貢献してきました。そして現在は、先端材料・半導体分野としてビジネスのフィールドを広げ、製造プロセスだけでなく薬液を供給するメーカーに向けた計測技術の提供など、半導体を取りまくサプライチェーン全体の中でさらなる貢献を果たそうとしています。各国の半導体メーカーの近くにアプリケーション開発拠点を展開するとともに、日本国内に生産拠点と技術サポートチームを設置し、グローバルなネットワークを活かして、高度な情報技術社会の実現を支えています。

\*2021年当社調べ

## 配管内の薬液を非接触で測定、高温のリン酸もリアルタイムで測定。

非接触型薬液濃度モニタ「CS-900」は、センサに薬液が触れることなく測定するため、薬液漏れや異物混入のない安全で安定した濃度監視を可能にします。光ファイバ式熱リン酸濃度モニタ「CS-620F」は、主に3次元NAND型記憶素子のエッチングプロセスで用いられる高温のリン酸を、冷やすことなくリアルタイムに測定し、高速で測定データをフィードバックすることで、品質と生産性の向上に貢献します。

### 関連製品

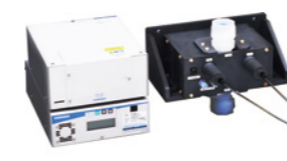


卓上型水質計 LAQUA F-70シリーズ



微生物迅速検査装置 Rapica

### 関連製品



光ファイバ式熱リン酸濃度モニタ CS-620F



非接触型薬液濃度モニタ CS-900

# 私たちの ものづくり

次世代の計測ニーズを見据えて、新しい発想と技術で世界に安全な水を広げようとしている「自動水道水質測定装置GX-100」(2024年発売予定)の開発プロジェクトをご紹介します。



自動水道水質測定装置GX-100  
(2024年発売予定)

## 1 市場ニーズ調査

世界には安全な水にいつでも簡単にアクセスできない地域が多くあり、貯水から排水、再利用、防災対策などインフラ整備が重要な課題の一つです。我々は水質計測技術で水の社会問題を解決する方法を探索しました。そのなかで水の安全を誰でも簡単に確認できる水質測定装置の構想が生まれました。ボトムアップからの提案作りは責任重大ですが、だからこそやりがいがあります。



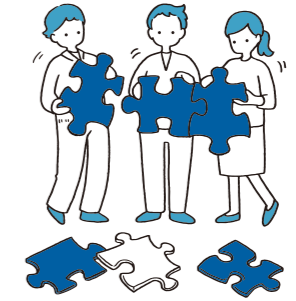
## 2 製品企画

場所や管理者に依存せず、信頼性の高い水質管理に必要な機能は?扱い易く、限られた人員で監視を続けるには?を突き詰めた結果、センサのモジュール化案に辿り着きました。センサごとに分離が可能で、個々のメンテナンスを容易にし、ダウンタイムの削減や省人化に貢献。遠隔管理システムも搭載すれば、離れた現場のデータをリアルタイムに入手できます。



## 3 デザイン・設計

モジュール型の製品は初めての試み。性能や耐久性はもちろん、コスト課題も解決しなければならず、各要素設計のスペシャリストたちが知恵を出し合い、時に衝突しながら議論と実験を重ねました。



## 4 生産開始

“製品”としてお客様に届けるには社内外の評価でいただく貴重な厳しい意見を受け止め、生産技術と製品開発部門が垣根を越えて、工場の品質、コスト、物流管理へバトンをつなぎます。相互の立場を認め合い、納得できるまで話し合い、カタチに上げていきます。



## 5 ソリューションを届ける・サポートする

センサをモジュール化し、遠隔地管理ニーズから生まれた、これまでにない新たなコンセプト。様々な立場からの多様なアイデアも「世界中のあらゆる水質を守る」のもとでワンチームとなり、プロジェクトが進んでいきました。安心・安全な水資源の循環のために、私たちのチャレンジと探究はまだまだ続いていきます。



おもしろ  
おかしく  
ものづくり

Our voice



プロジェクトリーダー I.K

前例のない製品の開発プロジェクトを進めるために、みんなで活発に話し合える能動的なチームをめざしました。「本当に必要なものは何か?」という視点を一人ひとりが持ち、今日もさまざまな意見が飛び交っています。



電気設計 K.I

企画・構想段階から時間をかけて世界各地へ足を運び、現地の課題を肌で感じる事ができたことは得がたい経験です。出荷を迎えてからも、また現場へ赴き、世界の人々へ製品を届ける場所まで携っていきたくです。



ソフトウェア設計 S.T

Bluetooth®やアプリケーションなど、まだ社内開発実績やノウハウが少ない技術であっても、ソフトウェアの世界には常に先人がいます。必要な情報にいかにかアクセスするかということを中心に開発に臨みました。

※Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標で、株式会社堀場アドバンスドテクノはライセンスに基づき使用しています。



実験 E.O

実験系のチームは、メカから電気、ソフトまで各系統と連携をはかるために日々新しいことを学び、挑戦を重ねています。「できないことは無い」。そう言いきれないくらい、何にでもチャレンジできる環境がここにあります。



構造設計 W.K

誰もが使えるデザインを追求する中で、多くの壁にぶつかりました。そんな時、理論だけでなく自分の中のファジーな感覚を大事にすることで突破口がひらける場面もあり、未知なる課題と向き合う力を養うことができました。

# 私たちが創る未来 Our Future

## 開発

2019年入社  
M.M  
ソフトウェア設計

私はソフトウェア系のエンジニアとして、半導体をつくるうえで欠かせない薬液濃度モニタの開発に携わっています。薬液の計測は、半導体の品質や環境負荷の低減にダイレクトにつながるため、測定値に嘘が入ることなく、常に正確な値を提供できる装置をめざしています。

そして今、開発にあたっている新製品は、これまで使ったことのないセンサを搭載することになり、ソフトウェアの力でそのセンサの性能を引き出すことが、私にとって新たなチャレンジになっています。社内にいる電気系のスペシャリストや協力会社さんとも話し合いを重ねて回路や部品への理解を深め、日々新しいことを学びながら開発を進めています。

これからも知見を広げるとともに、ものづくりの原理原則と向き合い、開発を統括して見ることのできるエンジニアへと成長していきたいです。

ソフトウェアの力で、  
求められる性能を引き出す。



言語や分野の壁を越えて、  
誠実に、一歩ずつ。



## 営業

2021年入社  
S.M  
国内営業

韓国の大学を卒業して堀場アドバンステクノに入社し、営業としてキャリアの一步を踏み出しました。初めての日本での暮らしや、それまでの専攻とは異なる分野での仕事。

はじめの1年は文書の作成ひとつにも苦心しましたが、先輩が1対1でサポートしてくれるバディ制度のおかげで、少しずつ慣れることができました。2年目になると半導体製造機器メーカー様の営業担当を任せられ、自分で考えて行動する場面が増えました。半導体の製造プロセスにはさまざまな計測ニーズがあり、HORIBAの計測機器は無くてはならない存在だと肌で感じます。その分、トラブルが発生した時はお客様から厳しいお声をいただくこともあります。しかし、そんな時こそ焦らずに、社内の協力を得ながら、きちんと原因を究明して対応することを心掛けています。

お客様との信頼関係を築けるように、誠実な行動を積み重ねていくことが、今の目標です。

## 生産

2006年入社  
R.H  
生産技術

私にとって幸運だったのは、入社して間もなくHORIBAの創業製品である「pHメータ」の生産現場に配属され、原材料の加工から完成品として出荷されるまでの全工程を経験できたことです。

現在は生産技術部員として、主に新製品の立ち上げに携わっています。製品企画に近い段階から製品化プロセスに関わることで、提案できる幅が広がっていきます。チームとして苦勞を共にしながらものづくりを進め、製品が初出荷を迎える日。皆でお互いに労いや感謝の言葉を伝えあい、記念撮影できた時は苦勞が報われる一番うれしい瞬間です。最近は海外拠点との仕事も増え、シンガポールに赴任して生産拠点の立ち上げに携わりました。慣れない英語に苦勞しながらも改善を進め、信頼を得て、共に生産環境を築くことができ、人間的にも大きな成長につながったと感じています。

職域も、国境も越えて、  
ものづくりの喜びを分かち合う。



お客様の“声”を生かして、  
次々と新しいチャレンジを。



## カスタマーサポート

2015年入社  
A.H  
テクニカルサポート

カスタマーサポートセンターには、製品に関する技術的なお問い合わせやお困りごとなど、お客様からさまざまな声が寄せられます。その“声”を顧客体験の向上や、より良い製品・サービスの提供につなげていくために、私たちのチームは今、次々と新しいことにチャレンジしています。

例えば、動画共有サイトで、よくお問い合わせいただく操作やトラブルシューティングを動画で解説したり、AIチャットボットを導入したり、pHメータの原理をお伝えするウェビナーを開催したり……、お客様からの電話を待つだけでなく、自分たちから発信するというカルチャーがチームに根づいてきました。

「お客様への回答に困った時、動画が役立ちました」「次はこの製品を取り上げてほしい」と社内の“声”もサポートセンターに寄せられるようになり、次のチャレンジへの原動力になっています。

## 会社概要

名称	株式会社堀場アドバンスドテクノ (英文名 HORIBA Advanced Techno, Co., Ltd.)	
本所在地	京都府京都市南区	
設立	1975年3月28日	
資本金	2億5000万円	
決算	12月31日	
役員	会長	堀場 厚
	代表取締役社長	西方 健太郎
	副社長	
	シニアコーポレートオフィサー	金谷 幸一郎
	コーポレートオフィサー	西村 公志
	ジュニアコーポレートオフィサー	三木 亮志
	ジュニアコーポレートオフィサー	森 誠
従業員数	407名(2024年5月時点)	
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.測定機器およびこれらの応用装置、部品類の製造販売</li> <li>2.測定機器、およびこれらの応用装置のメンテナンスサービスの受託</li> <li>3.計測機器の設置工事業</li> <li>4.上記に関連する一切の事業</li> </ol>	
主な取引銀行	三菱UFJ銀行(京都支店)	
国内グループ会社	(株)堀場製作所 (株)堀場エステック (株)堀場テクノサービス	

<http://www.horiba-adt.jp>



## ○国内拠点

**本社** 〒601-8551 京都市南区吉祥院宮の東町2番地  
TEL(075)321-7184 FAX(075)321-7291

**工場** 〒601-8551 京都市南区吉祥院宮の東町2番地  
TEL(075)321-1215 FAX(075)321-1079

**東北 セールスオフィス**  
〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央4丁目21-8  
TEL(022)776-8253 FAX(022)772-6727

**東京 セールスオフィス**  
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町二丁目6番(神田淡路町二丁目ビル)  
TEL(03)6206-4751 FAX(03)6206-4760

**名古屋 セールスオフィス**  
〒451-0051 名古屋市西区則武新町三丁目1番17号BIZrium名古屋4F  
TEL(052)433-3452 FAX(052)433-3462

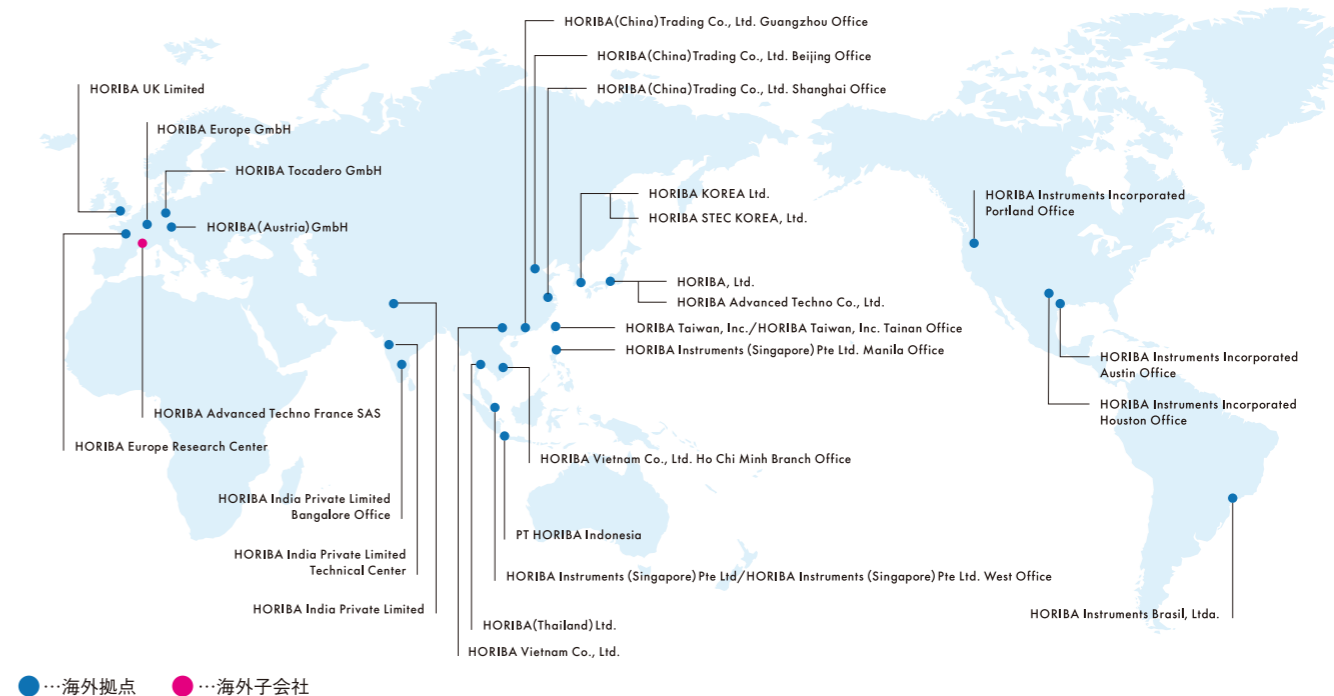
**大阪 セールスオフィス**  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-4-17新大阪上野東洋ビル4F  
TEL(06)6390-8211 FAX(06)6390-8222

**四国 サテライトオフィス**  
〒760-0078 香川県高松市今里町9-9  
TEL(087)867-4841 FAX(087)867-4842

**九州 セールスオフィス**  
〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町8番30号博多フコク生命ビル  
TEL(092)292-3595 FAX(092)292-3596

**九州 中央セールスオフィス**  
〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子字講米畑358-11鳥子工業団地  
TEL(096)234-8035 FAX(075)321-7291

## ○海外拠点・海外子会社



## 環境先進国の欧州にHORIBA水質計測ビジネスを展開する新拠点が誕生

仏水質計測機器メーカーTethys Instruments SASが2023年4月、堀場アドバンスドテクノ・フランス社としてHORIBAグループの一員に加わりました。限りある地球上の水資源を支える水質計測事業を強化し、新興国・発展途上国ニーズをサポートするビジネス展開に貢献します。相互に保有する技術のシナジー効果で、新製品開発を促進し、水の安心・安全と環境保全事業を展開します。彼らの持つUV分光技術の強みで、ユニークな水質計測システムと幅広いソリューションの提案をお届けします。

・記載内容については、改良のために仕様・外観等、予告なく変更することがあります。・記載されている製品詳細については別途ご相談ください。  
 ・記載内容と実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。・記載されている内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。  
 ・記載されている製品は日本国内仕様です。海外仕様については別途ご相談ください。・記載されている製品画面は、はめ込み合成です。  
 ・記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。